

退治しよう!
トラブル ハイキック

一気飲みを気楽に断る

仲良くしたい欲求

新入学生の皆さんは高崎経済大学という皆さんそれぞれにとって全く新しい共同体に入っていくこととなります。期待と不安をそれぞれに持っていることでしょう。心理学者のマクレランドは、権力欲求、親和欲求、達成欲求という三種の欲求を人間は持っているといえます。それらのうち親和欲求は、他人と仲よくなりたい、親しくしたい、集団の一員として受け入れられたい、といった内容の欲求です。

集団圧力

人間は新しい集団に入ると、その集団独特の価値観や考え方、行動様式をいち早く学び取り、それに合わせる事で受け入れられようとしします。また集団の方からも、合わせるように圧力(集団圧力)をかけたり、学習が早く進むように手助けをしたりします。新しく入ってきた人に、早く集団に馴染んでもらおうとするのです。大学生の皆さんにとって集団圧力の身近な例の一つが一気飲みではないでしょうか。集団の酒盛りの場を盛り上げるためと称して一気飲みが行われることがあります。

それだけではなく、人間はそもそも集団圧力に弱い存在なのです。心理学者のアッシュの実験によると、他の人々の判断が明らかに間違っていると、自分は気がついていたりしても、自分もその間違った判断に同調する傾向が意外に高い、という結果が出されています。この実験そのものは特殊な状況で行われていますが、日常的な場面でも事例があつて、宴会の始まるの時に「とりあえずビール」となるのも集団圧力が働いているからと言えなくもないでしょう。

人間関係?

しかし一気飲みが危険な行為であることは言うまでもありません。毎年のように死亡の報道がなされます。ここで考えてみてください。一気飲みを断ったくらいで壊れるような人間関係は、そもそも大した事ないとは思いませんか。「今日はちょっと・・・」といった感じであたりさわりなく断りましょう。そして自分の気持ちはあくまで気楽に。

禁止薬物

以上と似たような事は、禁止薬物にも言えるのではないのでしょうか。「友人関係を壊したくないから断りきれなくて」といったものが意外に多いかも知れません。禁止薬物をすすめる友達なんて、そもそも要らないとは思いませんか。

藤本 哲

大学らしく文献紹介

ここで紹介したような研究についてもっとよく知りたい方は、次の本を読んでみてください。様々な研究が簡潔に紹介されています。

books

齊藤勇編

『対人社会心理学重要研究集1』

社会的勢力と集団組織の心理



TETSU FUJIMOTO

経済学部助教授。

1998年神戸大学大学院経営学研究科博士課程後期課程修了。博士(経営学)。1997年奈良産業大学経済学部経営学科講師。1999年同経営学部経営学科助教授。2003年4月より現職。中高生の頃はコンピュータの世界に進みたいと考えていたが、数学と物理ができなくて浪人。仕方なく入った経営学部で光が見えた。